

留学先大学：ヤゲウォ大学  
 留学先での所属学部・研究科：International and Political science  
 留学先での在籍身分：交換留学生  
 留学期間：2014 年 10 月～ 2015 年 6 月  
 神戸大学での所属学部・研究科：国際文化学部  
 学年（出発時）：3年  
 本報告書記入日：2014 年 12 月 15 日

## 出発前

どのように情報を集めましたか。参考になる本やホームページがあれば、記入してください。

地球の歩き方が唯一の情報源でした。  
 ポーランド語を少し学ぶために「ポーランド語エクспレス」という本を購入しました。

## 住居について

- ・住居のタイプ：大学寮 アパート ホストファミリー その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- 住居（寮，アパート）の名前：ZACZEK
- ・部屋の種類：一人部屋 二人部屋 その他（具体的に）三人部屋
- ・ルームメイト：現地学生 留学生（出身国：日本） その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・どのように探しましたか。：大学の斡旋 自分で探した その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・大学までの通学時間・手段：20 分，徒歩
- ・住居の周りの環境はどうか。：

治安がよいです。近くにはトラム停があり、15分ほどで中心地に行くことができます（この路線ではトラムは1種類しか走っていませんが20分に1本くらいはあります）。寮の隣には国立博物館、裏には大学の図書館があり、静かで住みやすいです。しかし大きなスーパーは中心地か郊外に行かないとない（バスで20分ほど）ので、少し不便かもしれませんが、普通に生活はしやすいです。

- ・毎日の食事はどうしていますか。：

自炊しています。冷蔵庫と電子レンジが共用のものもなかったので自分たちで買いました。

- ・住居は渡航前に、または渡航後すぐにみつかりましたか。トラブルはありませんでしたか。：

入学許可がおりにる時に同時に決まりました。ルームメイトと一緒に入寮手続きをした人となることができます（私は神大から来た3人で一緒に行ったので、今は一緒に住んでいます）。部屋の変更も随時できると聞いています。

## 大学の授業について

### 1. 履修登録について

- ・履修登録の時期：出発前 到着後
- ・履修登録の方法：On-line International Office等の仲介 その他（具体的に）\_\_\_\_\_
- ・登録時に留学生として優先・配慮されることはありましたか。：無し 有り
- ・優先・配慮があった場合、具体的に教えてください。

- ・希望通りの授業が履修できましたか。：はい いいえ
- ・希望通りの授業が履修できなかった場合、その理由を教えてください。

## 2. 現在までに、履修している授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数 /週	留学先 での単 位数	履修し ている 学生数	予習、復習、テスト等についてアドバイスも 含めて教えてください。
1	Introducing the European Union	Marek Kucia	4時間 (2コマ)	6.00	15	ゼミと講義の両方があります。プレゼンが最低一回、期末テストがあります。辞書は持ち込み可で、内容はEU基礎論で扱うようなことです。教授は優しいです。
2	The cultural construction of European identities	Zdzisław Mach	4時間 (2コマ)	6.00	16	ゼミと講義の両方があります。プレゼンが一回、期末エッセイがあります。自分の意見を言うものなので、教授の話がわかっていなくてもできます。
3	Polish	Marta Drwiła	3時間 (2コマ)	7.50/ 5.00/8	9	優しい英語で教えてくれるのでわかりやすいです。宿題はほぼ毎回出て、2レッスンごとくらいで小テストがあります。中間テスト、期末テストがあります。
4	Polish language and culture	Anna Kulasik	1.5時間	4.5	10	テストは口頭であると聞いています(詳細は知りません)。展覧会などに行くことが多いです。
5	English	Anna Pałczyńska	1.5時間	0	16	出席率はあまりよくないですが、楽しく英語を学べるよい機会です。会話が中心です。
6						
7						
8						
9						
10						

## 3. 授業（カリキュラム等）について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

私は所属のコース(CES; Center for European Studies)の授業しか履修していませんが、そこは留学生向けなのでポーランド人はいません。クラスはどれもゼミのような形です。ほかの学部の授業も受けることができます。ただ、キャンパスが街中に点在しているので、クラスによっては(移動時間的に)履修できないかもしれないです。

## 一週間のスケジュール（授業時間、課外活動等、毎日の生活を記入してください。）

	月	火	水	木	金	土	日
8:00	授業		授業				
9:00	(8:30-10:00)	図書館で勉強	(8:30-10:00)				
10:00	買い物			授業	授業		
11:00				(10:25-12:15)	(10:00-11:30)		
12:00	授業						
13:00	(12:45-14:00)	授業	授業	授業			
14:00	図書館で勉強	(14:20-16:00)	(14:00-16:00)	(15:30-17:00)			
15:00							
16:00		日本語学科の生徒と会話	図書館で勉強	日本語学科の生徒と会話		よさこい	
17:00		(※週一回)		(※週一回)		(17:30-19:30)	
18:00							
19:00							
20:00							
21:00							
22:00							

## 現在までの感想 自由に記入してください。(800字～)

留学して2カ月半が経った今、一番思うのは、クラブに来てよかった、後輩もぜひ来てほしいということです。決して平坦な道のりではなかったのですがその分充実したものになっていると思います。

まず、街について少しだけ書くと、治安がよく物価が安く、きれいな街並みで、ほとんどのところは歩いて行ってしまうくらい凝縮した、小さな街です。住みやすいです。ポーランド料理は日本人の口にあい、すごく美味しいです。

留学を始めてつらかったのが、オフィスにたらいまわしにされたこと、2カ月ほど友達がほとんどできなかったこと、ホームシックです。大学へ入学手続きに行った時に自分の所属コースが決まっていないことが判明し、所属したいコースのオリエンテーションに行っても私の情報がないから受け入れられないと断られ、student officeに行ってもどうなるかわからないと言われました。一週間student officeに通い詰めて、私はここに所属したい、返事はまだか、などなど言うのは、不慣れた生活に不安でしかなかった私に本当につらかったですが、自分の主張をしっかりと、問題に立ち向かったという点では一つ大きく成長できたと思います。無事に希望のコースに入れたかと思えば、次に訪れたのは友達ができないということです。神戸大から来た3人で行動を共にしていたのが悪かったのかと思いますが、全然友達ができず、英語の話し相手がおらず、寮の部屋では日本語しか話さず…という状況で、自分に留学の意味を問い直しては今の自分はだめだ、とネガティブになり、悪循環の日々でした。日本で一人暮らしをしたことがなく、家族とも仲が良かった私は、1か月間ほどホームシックもひどく、この地に慣れる自分を想像することさえできませんでした。しかし、一人で行動しなければだめだと言いつつ、少し勇気を持って話しかけてみれば、少しずつ友達ができるようになりました。参加したあるイベントでは本当に素敵な友達と出会えました。そのうちの一人の子は実家に私をよく招待してくれて、家族みんな私に優しく親切にしてくれるので私はポーランドで第二の家族を得たように感じています(毎日会えないのが寂しいくらいで、このような家族を得られたのがどれだけ嬉しいか…)。授業は2カ月半経った今でも正直わからないことの方が多いです。ポーランド人と授業を受けられると思っていたら、私の所属するコースは留学生向けなのでポーランド人はおらず、学部生はアメリカ人が大半だったので、彼女らの話す英語も聞き取るのに苦労をしています。彼女らがどれだけ話を聞いていなくても、真剣に聞こうとしている私の方が授業を理解していないのだろう、とか、彼女らはプレゼンの内容が濃くないのに英語力でうまく聞こえる一方、私は内容をつめて濃いものにしないと彼女らのプレゼンに届かないのだろうという劣等感は悔しかったです。しかし、自分ができることを精一杯すれば、彼女らも教授も褒めてくれますし、授業が分からないとクラスの友達に相談すればいつでも助けてくれ、そこから自分の力で必死にへばりついていくというのは、自分を少しでも成長させているのではないかと思います。

日本人にとって遠い存在のここポーランドで、かつ派遣第一期生として情報を得られないまま不安の中始まった留学生活は本当に素晴らしいです。ふりかえれば、つらいことが大半のような気がしますが、それでもそれを乗り越えたという自信と、少し成長したのではという実感はすごく嬉しいです。これからの留学生活がさらに充実したものになるよう、楽しむことも忘れず励んでいきたいと思っています。